

2020年度 第19期 水俣学講義 講義プログラム（予定）

毎週木曜3時限（13：00～14：30） 熊本学園大学生はmanabaから受講してください。14号館1F 1411教室

回	日付	タイトル	講師
1	9月24日	「水俣学への ^{イザナ} 誘い」	花田 昌宣 熊本学園大学社会福祉学部・水俣学研究センター
2	10月1日	「琵琶湖環境問題と水俣病問題はどうつながるか？」	嘉田由紀子 参議院議員
3	10月8日	「家族とともに海に生きる」	杉本 肇 水俣病資料館語り部、漁師
4	10月15日	「水俣病の補償・救済 胎児性水俣病患者と社会福祉」	田尻 雅美 水俣学研究センター 研究員
5	10月22日	「私が見た水俣ーそして今取る行動」	アイリーン美緒子スミス グリーンアクション代表／環境ジャーナリスト
6	10月29日	「水俣病に学んで（相良）村医者50年」	緒方俊一郎 医師・相良村教育長（水俣病センター相思社理事）
7	11月5日	「水俣病事件との出会いー反公害50年を生きて」	藤原 寿和 日台油症情報センターセンター長
8	11月12日	「水俣そしてアフガニスタン」	福元 満治 図書出版石風社代表/ペシャワール会広報担当理事
9	11月19日	「石牟礼道子と水俣病ー ^{トキ} 闘争の季節がきた」	米本 浩二 石牟礼道子資料保存会研究員
10	11月26日	「水俣駐在記者の仕事」	西 貴晴 毎日新聞社鹿児島支局長、元水俣通信部部长
11	12月3日	「被差別民衆とコロナ感染症そして水俣病をふまえて-差別と向き合うための問題提起-」	朝治 武 前大阪人権博物館館長
12	12月10日	「生き続ける水俣病ー行政不服審査請求から漁村の暮らし、そして今何が問題なのか」	井上 ゆかり 水俣学研究センター 研究員
13	12月17日	「水俣条約、目標年度の2020年を迎えて、私たちの生活は変わったのか」	中地 重晴 熊本学園大学社会福祉学部・水俣学研究センター
14	2021年 1月7日	「ウイズコロナの時代を生きる私たちにとっての『水俣病事件』（仮）」	宮北 隆志 熊本学園大学社会福祉学部・水俣学研究センター
15	1月21日	「水俣病と水俣学の将来展望」	花田 昌宣 熊本学園大学社会福祉学部・水俣学研究センター